

基本方向Ⅰ.人権教育の推進（Ⅰ）学校園などにおける人権教育の充実

資料2（別冊）

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
1 女性の人権	人権政策課 支援教育課	児童・生徒向け DV予防教育プログラム	男女が対等な存在であるという意識の形成や、暴力を伴わない人間関係の構築に向け、人権尊重を基盤としたDV予防教育を小学校8校、中学校14校で実施した。	特定非営利活動法人 SEAN
2 子どもの人権	公立保育幼稚園課	いじめの未然防止に係る幼児対象人形劇	就学前児童施設に人形劇団を派遣し、友情や友達・仲間をテーマにした人形劇を実施した。	枚方市いじめ問題対策連絡協議会
2 子どもの人権	支援教育課	人権教育の推進	人権尊重の精神に立った学校園づくりを進め、すべての幼児・児童・生徒の自立、自己実現、豊かな人間関係づくりが図られるよう、人権教育推進計画の作成・活用、見直しを発達段階に即したものとなるように留意して行った。	—
2 子どもの人権	人権政策課	児童向け 人権教室	人権擁護委員が小学校を訪問し、人権啓発DVDや冊子などを活用して、人権について考えることにより、命を大切にする気持ちや、他人を思いやる心を育むことを目的に、人権教室を実施した。（参加者数：9校26クラス708人）	枚方地区人権擁護委員会
2 子どもの人権	人権政策課	児童向け プライベートゾーンに係るこども人権教室	未就学児や小学校低学年児童を対象に、子どもたちが性被害の加害者にも被害者にも傍観者にもならないよう「自分の体は自分で守る」という意識を育む予防的啓発活動を実施した。（参加者数：10小学校839人、市内幼稚園等7園326人）	大阪第二人権擁護委員協議会
3 高齢者の人権	健康福祉政策課	児童向け 認知症フレンドリーキッズ授業	認知症の基礎知識についてや、VRを使った認知症の人が見える世界を疑似体験してもらう授業を通して、正しく認知症について理解し認知症の人が尊厳を持ち住み慣れた地域で暮らし続けることができる共生社会を学ぶことを目的に、市内小学校7校（禁野小学校、氷室小学校、明倫小学校、津田小学校、香里小学校、牧野小学校、樟葉西小学校）で実施した。	—
4 障害のある人の人権	支援教育課	「ともに学び、ともに育つ」教育の推進	共生社会の実現をめざし、障害者に対する無理解や偏見等を取り除き、障害者の人権が尊重される教育を実施した。また、障害のある幼児・児童・生徒等の人権を尊重することを基本に、障害者理解を深める教育を系統的に実施した。	—
6 部落差別（同和問題）	支援教育課	同和教育の推進	関係法令及び答申等の趣旨を踏まえ、人権尊重の視点に立った取組を進めるとともに、同和問題の早期解決に向けて、人権教育の一環として年間指導計画に位置付け、同和教育を実施した。	—
7 外国人の人権	支援教育課	在日外国人教育の推進と日本語指導の充実	幼児・児童・生徒の自尊意識を育み、文化の違いを互いに尊重し共に生きる力を育む教育を推進するとともに、本名を使用できる環境の醸成に努めた。 また、日本語指導を必要とする児童・生徒について、必要に応じて個別の指導計画を作成するなど、生活言語はもとより学習言語としての日本語習得が図られるような教育を実施した。	—
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	保健予防課 健康づくり課	HIV・性感染症の知識・検査を普及する 「大学フェア」	枚方市内5大学に学園祭や別日で日程を設けてもらい、健康づくりについての啓発、HIVや性感染症の知識・検査の普及を行った。（参加者数：419人）	摂南大学 大阪工業大学 大阪歯科大学 関西外国語大学 関西医科大学
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	支援教育課	ジェンダー平等教育の推進	性的マイノリティとされる幼児・児童・生徒についての理解を深め、個の状況に応じ、教職員が協力して幼児・児童・生徒が相談しやすい環境を整えるとともに、心情に配慮した上で、幼児・児童・生徒が正しく理解できる教育を実施した。	—

基本方向Ⅰ.人権教育の推進（2）地域における人権教育の充実

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
2 子どもの人権	子ども青少年政策課	青少年育成指導員向け ヤングケアラー講座	ヤングケアラーに関する基礎知識や枚方市における現状や取り組み等をテーマに、子ども青少年政策課職員による研修を青少年育成指導員を対象に実施した。（参加者数:34人）	枚方市青少年育成指導員連絡協議会
2 子どもの人権 16 ひきこもりの状態にある人の人権	まるとこどもセンター	青少年育成指導員向け講座	ひきこもりに関する基礎知識や枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センターにおける取り組み等をテーマに、子ども相談課職員による研修「ひきこもりの若者への取り組みについて」を青少年育成指導員を対象に実施した。	—
2 子どもの人権 16 ひきこもりの状態にある人の人権	まるとこどもセンター	市民向け サポートフレンド養成講座	ひきこもり等の子ども・若者に対する理解者であるサポートフレンドを養成することを目的とした講座を、地域の希望者を対象として3回連続で実施した。	—
3 高齢者の人権	健康福祉政策課	市民向け 認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解を深めるため年5回講座を開催した。また、地域包括支援センターと協力し地域のコミュニティや企業等に対しても講座を開催した。	認知症キャラバン・メイト
3 高齢者の人権	健康づくり課	市内で働くことを希望する者向け 生活支援員養成研修	支援を必要とする高齢者に掃除や買い物、調理などの家事の支援を行う介護予防・生活支援サービス事業である生活援助訪問事業を担う「枚方市生活支援員」を養成するための講座を5回実施した。（修了者数:25人）	生協法人 大阪高齢者生活協同組合 特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ枚方拠点
3 高齢者の人権	健康づくり課	市民向け ひらかた生き生きマイレージ	高齢者の社会参加を促進し、健康寿命を延ばすことを目的に、枚方市介護保険の第1号被保険者のうち、介護保険料の滞納がない者を対象に、自らの知識・経験を生かして介護保険施設等にて身体介護を伴わないサポーター活動を行う、ひらかた生き生きマイレージを実施した。（活動参加延人数:傾聴・見守り 278人、施設の手伝い 112人、喫茶 60人、レクリエーション 78人、書道・茶道 48人、園芸・畑づくり 119人、演奏 124人）（受入先延人数:特養 130人、デイサービス 416人、グループホーム 4人、介護老人保健施設 12人、障がい者地域活動スペース 179人、高齢者居場所 78人）また新任サポーターの研修を3回実施した。（参加者数:26人、サポーター登録者数:23人）	生協法人 大阪高齢者生活協同組合
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	健康福祉総合相談課	市民向け 市民後見人養成講座	専門職や社会福祉協議会以外の後見人の新たな担い手として市民後見人の養成及び育成を実施し、令和5年度は21名がバンク登録されている。また、モチベーション維持のため、フォローアップ研修を2回行った。	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 ひらかた権利擁護成年後見センター
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	健康福祉総合相談課	市民向け 市民啓発講座	市民が地域福祉への理解を深めることを目的として、枚方市社会福祉協議会と連携し、「成年後見制度」をテーマに3回シリーズで講演会を開催した。	社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	健康福祉総合相談課	支援者向け研修、親族後見人向け研修	支援者に理解を深めてもらえるよう、後見人の役割や支援内容について研修会を行った。 また、親族後見人向けに、「親族後見人の仕事術」のテーマで研修会を行った。	ひらかた権利擁護成年後見センター
4 障害のある人の人権	障害企画課	市民向け 枚方市手話講習会	ろう者の生活や福祉制度への理解と認識を深め、更に日常生活上の基本的な手話を習得したい方に向けて講習会を実施した。（修了人数:35人）	枚方市聴力障害者協会
4 障害のある人の人権	障害企画課	市民向け 初級音訳講習会	視覚障害のある方への理解を深め、また、音声で分かりやすく伝えるための基本技術やデジタル録音技術（デイジー形式）の基本を学ぶため講習会を実施した。（修了人数:5人）	特定非営利活動法人 デイジー枚方
4 障害のある人の人権	障害企画課	市民向け 点訳講習会	点字板と点筆を使った点訳の基本技術や、疑似体験を通して、視覚に障害のある人の暮らしについて学ぶため講習会を実施した。（修了人数:6人）	社会福祉法人 わらしべ会
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	保健医療課	市民、関係者向け ゲートキーパー養成研修	こころの病や自殺に関する正しい知識について理解促進を図るため、ゲートキーパー研修を実施した。看護学生を対象とした研修では100名参加し、人権擁護委員を対象とした研修では15名参加した。また、市民対象に「コロナ後のメンタルヘルス」をテーマに講演会を実施し61名参加した。	—
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	保健医療課	市民、関係機関向け 心のサポーター養成研修	メンタルヘルスや精神疾患への理解を深め、心のサポーターが養成されていくことで、精神疾患の予防や早期介入につなげることを目的に、オンラインで市民対象とした研修を2回、対面で関係機関対象とした研修を1回実施した。市民対象には48名参加、関係機関対象には42名参加した。	—
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	保健医療課	電話相談員向け こころの電話相談ボランティア養成講座（フォローアップ研修）	R5年度こころの電話相談ボランティア養成講座について実施しなかったが、電話相談員のスキルアップを図り、相談事業の充実を目的にフォローアップ研修を実施した。	—

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
7 外国人の人権	観光交流課	市民向け 日本語ボランティア養成講座 日本語ボランティアステップアップ講座	会話や読み書きに困っている外国人に、ボランティアとして日本語を指導する方法を学ぶ講座を8回実施した。参加者数26人。また一層のステップアップを目指す講座を3回実施した。（参加者数：28人）	公益財団法人 大阪YWCA
7 外国人の人権	観光交流課	市民向け 国際理解講座 やさしい日本語講座	市民向けに防災情報をやさしい日本語で伝える講座 防災編を1回実施した。（参加者数：25人）	やさしい日本語有志の会
7 外国人の人権	教育政策課 （文化生涯学習課）	市民向け 朝鮮語教室	朝鮮語学習を通じて、隣国である朝鮮半島の文化等を理解し、韓国・朝鮮人を含めた全ての市民が、市民としての相互の交流を深め、多文化共生社会を醸成するとともに、国際交流の推進を図るため、計40回開催した。（参加者数：37人）	—
17 様々な人権問題	人権政策課	市民向け なんでも、どこでも出前塾	枚方市の人権施策を広く市民に理解してもらえるように、「なんでも、どこでも出前塾」に登録していた講座「人権について」について、申し込みのあった民生委員・児童委員に対して講座を行った。（参加者数：30人）	—
17 様々な人権問題	危機管理政策課	市民向け 地域防災推進員育成研修会	自助・共助による防災対策の重要性を地域全体に普及させる役割を担う人材を育成するため、これから地域の防災活動に携わることとなる市民を対象に、消防吏員の指導による救出・応急手当訓練や防災に関する講義等をカリキュラムに盛り込んだ「地域防災推進員育成研修会」を1回実施した。（参加者数：26人）	枚方寝屋川消防組合

基本方向Ⅰ.人権教育の推進（3）家庭における人権教育の充実

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
1 女性の人権	人権政策課	男女共同参画啓発講座	性別にかかわらず誰もが個人として尊重される男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業として、女性のためのコミュニケーション講座、ペーパークラフト講座、母娘関係を学ぶ講座や映画「パッドマン」上映会等を実施した。（参加者数：合計153人）	—
2 子どもの人権	まるっとこどもセンター	市民向け 親支援プログラム 前向き子育てプログラム 前向き子育て講座	暴力や暴言ではなく、前向きな方法で子育てをしていくための、子育てプログラム（小学生の保護者対象）を1回（全7セッション）、幼児から小学4年生までの保護者を対象とした子育て講座を1回、思春期の保護者対象の講座を1回実施した。	—
2 子どもの人権	まるっとこどもセンター	ひとり親家庭市民講座	ひとり親家庭等の誰もが個人として尊重され、いきいきと希望を持ち生活を遅れる社会の実現を目指し、「子どもが笑顔で健やかに成長できるように～子どもの養育・家族のトラブル～」の講演会を実施した。（参加者数：41人（配信動画視聴者数含む））	—

基本方向Ⅰ.人権教育の推進（4）企業等における人権教育の充実

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
Ⅰ 女性の人権	人権政策課	市職員対象 男女共同参画推進本部研修	市の理事者・管理職員を対象に、「多様な人材と共に働く」という意識を一人ひとりに醸成した上で、組織としてダイバーシティを推進する意義について、改めて理解を深め、本市の施策に活かすことを目的とし、「女性活躍推進研修～多様な人材が働きやすくなるための組織づくり～」をテーマに研修会を実施した。（参加者数：37人）	—
Ⅰ 女性の人権	人権政策課	DV関係機関連絡会議実務者研修	DVに対する理解を深め、適切な支援につなげるため、機関の連携、協働をテーマに、関係機関の職員を対象にした研修会「DV支援における各機関との連携・協働について」を実施した。（参加者数：38人）	—
2 子どもの人権 17 様々な人権問題	教育研修課	学校園人権教育担当者対象 人権教育研修	・すべての幼児・児童・生徒の命の尊さについて考えるとともに、実態に即した自殺予防教育プログラムについて理解を深め、学校園の組織づくりの推進に資するため、「学校でできる自殺予防教育プログラム」をテーマにした講義・演習を実施した。 ・「子ども理解」に対する認識を深めるとともに、人権尊重の精神を基盤とした学校園の組織づくりの推進に資するため、「子どもたちの『Well-being』実現へ向けて」をテーマにした講義・演習を実施した。 ・現代社会が抱える課題の背景や社会課題について理解を深め、新しい人権意識について考えるとともに、組織的に課題を解決していく学校園の組織づくりの推進に資するため、「新しい人権概念」をテーマにした講義・演習を実施した。	—
2 子どもの人権	公立保育幼稚園課	就学前児童施設職員人権教育研修	就学前児童施設職員を対象に、「幼保小架け橋プログラムと保育の質・人権」をテーマにWEB開催により研修を実施した。	—
2 子どもの人権	まるっとこどもセンター	教育・保育機関職員向け ヤングケアラー講演会	ヤングケアラーに関する正しい知識や理解を広める取り組みとして、ヤングケアラーに関わる当事者や専門職で構成された支援団体である特定非営利活動法人ふうせんの会を講師に招き、日常の業務の中で子どもと触れ合う機会の多い教育機関職員を対象にした講演会を開催した。（参加者数：16人）	—
2 子どもの人権	まるっとこどもセンター	関係部署担当職員向け ヤングケアラー研修	ヤングケアラーに関する基礎知識の周知や実際の対応を想定したケース検討等を目的に、子ども青少年政策課職員およびスクールソーシャルワーカーによる説明及びグループワーク形式の研修を実施した。（参加者数：26人）	—
2 子どもの人権	放課後子ども課	留守家庭児童会室職員研修	子どもの人権と倫理をテーマに大学教授による研修「学童期の保育について ～子どもの人権と倫理の観点から～倫理観に関するチェックリストの実施」を1回実施した。子どもや保護者対応に生かすため、職員に求められる倫理観のチェックリストを定期的の実施し会議の中で共有を図った。（参加者数：147人）	—
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	公立保育幼稚園課	保育所等障害児保育実践者研修	就学前児童施設職員を対象に、「4・5歳児クラスの中で自我拡大・充実期の発達にある児を含めた保育において大切にすべきことはなにか。」をテーマにWEB開催により研修を実施した。	—
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	公立保育幼稚園課	保育所等障害児保育担当保育士研修	就学前児童施設職員を対象に、「どの子にも あー楽しかった!の毎日を～発達の視点と保育の手立てを結ぶ～」をテーマにWEB開催により研修を実施した。	—
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	公立保育幼稚園課	公立保育教育等関連施設職員対象 保健研修	公立保育教育等関連施設職員を対象に、保育知識の習得等のため、「子どもの摂食と嚥下の育ち、大人の関わりを考える」など各種研修を実施した。	—
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	公立保育幼稚園課	保健研修（中核市研修）	就学前児童施設職員を対象に、「就学児の集団生活における発達障害を疑う時の対応について学び、保育にいかす」をテーマに研修を実施した。	—
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	公立保育幼稚園課	市町村保育担当職員等研修	大阪府及び府下中核市公立保育関連施設職員を対象に、ビデオ視聴オンデマンド研修「誰もが住みたい地域で共に暮らせる共生社会へ～事例と倫理の視点から～」など（4講座）を実施した。	特定非営利活動法人 ちゃいるどネット大阪
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	市立ひらかた子ども発達支援センター	枚方市障害児等関係機関連絡会議機関向け 研修	保育・教育・療育等の関係者を対象に「障害のある子どものライフサイクルを通した発達の理解」をテーマにWEB開催により研修を実施した。	大阪府中央子ども家庭センター、大阪精神医療センター、大阪府立交野支援学校、大阪府立交野支援学校四條畷校、大阪府立枚方支援学校等
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	まるっとこどもセンター	関係機関向け研修	児童虐待防止の周知・啓発を目的に関係機関を対象とした研修会を、「支援が必要な保護者、子育てに困難を抱えた保護者への支援と対応について」及び「発達障害や愛着障害を抱えた子どもの理解について」をテーマに、2回実施した。（参加者数：延べ216人）	—
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	放課後子ども課	留守家庭児童会室職員研修	子どもの発達についての基礎知識や発達保障をテーマに発達相談員（特別支援教育士）による研修「学童保育における配慮を要する子どもへの対応」を1回実施した。（参加者数：124人）	—

別冊）令和5年度取組実績一覧

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
2 子どもの人権 16 ひきこもりの状態にある人の人権	まるっとこどもセンター	枚方市子ども・若者支援地域協議会 合同研修会	枚方市子ども・若者支援地域協議会において、「当事者と支援者、両方の視点から学ぶ～ひきこもりからの回復のプロセス～」というテーマで枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会と合同研修会を実施した。	枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会
6 部落差別（同和問題）	人事課 人権政策課	新任課長代理対象 人権研修	人権問題について当事者意識を持ち、相手の立場に立った行動・言動ができるよう人権感覚を養うとともに、課題解消に努めるべき管理職員として、本市の人権施策及び人権に関する知識をさらに深めることで、だれもが働きやすい職場環境の実現に資することを目的として、新任課長代理を対象に、「同和問題を始め、さまざまな人権問題とその関わりについて」をテーマに人権研修を実施した。また、研修の事前課題として、総務省作成人権啓発ビデオ『同和問題 未来に向けて』を各自で視聴した。（参加者数：25人、実施回数：1回）	一般財団法人 大阪府人権協会
6 部落差別（同和問題）	支援教育課	学校園人権教育担当者対象 枚方市人権教育研究協議会 夏のフィールドワーク・講演会	被差別部落で家業を継ぎ、牛を解体する仕事を生業とする人々の歴史について、当事者の北出 昭さんの講演「ある精肉店の話」を聞き、貝塚市の人ふれあいセンターでフィールドワークを実施した。	枚方市人権教育研究協議会
6 部落差別（同和問題） 17 様々な人権問題	人権政策課	市職員対象 人権啓発等に関する講座・集会等への参加	様々な人権問題を取り上げ、あらゆる差別の撤廃を目指す部落解放・人権夏期講座等の人権団体が主催する講座・集会へ参加した。部落解放・人権夏期講座、部落解放研究全国集会には、延べ13部署から参加があった。	—
6 部落差別（同和問題） 17 様々な人権問題	人事課 人権政策課	新任係長・主任対象 人権研修	各職員が人権課題について当事者意識をもち、相手の立場に立った行動・言動が当たり前に行えるなどの人権感覚を養うことを目的として、新任係長及び新任主任を対象に「人権について（総論）」をテーマに人権研修を実施した。また、研修中、総務省作成人権啓発ビデオ『同和問題 未来に向けて』を視聴した。（参加者数：113人、実施回数：4回）	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会
6 部落差別（同和問題） 15 インターネットによる人権侵害 17 様々な人権問題	支援教育課	学校園人権教育担当者対象 枚方市人権教育研究協議会 講演会	インターネットによる人権侵害と部落差別の現実を知ることと同和教育を推進することを図り、学校園の人権教育担当者に対して川口 泰司さんによる講演会「ネット人権侵害と部落差別の現実～「寝た子」はネットで起こされる～」を実施した。	枚方市人権教育研究協議会 特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会
7 外国人の人権	人権政策課	枚方事業所人権推進連絡会 会員研修会	枚方事業所推進連絡会の会員研修として、外国人が安心して就労し、企業や地域社会の一員として活躍することができる環境を整備していくため、事業者向けに「外国人労働者と人権 職場における共生のために」をテーマにした動画配信による研修を実施した。	枚方事業所人権推進連絡会
7 外国人の人権	観光交流課	市職員対象 国際理解講座 やさしい日本語講座	職員向けに外国人に行政サービスを円滑に提供するための講座を1回実施した。（参加者数：25人）	公益財団法人 大阪府国際交流財団
8 HIV感染者、ハンセン病回復者 及びその家族の人権	保健予防課 健康づくり課	枚方市内優良企業へのHIV・エイズに関する啓発	ひらかた健康優良企業として登録されている、従業員の健康づくりに取り組む企業（120企業）にメールでHIV・エイズについての知識・検査の普及を行った。	ひらかた健康優良企業
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	人事課 人権政策課	次長・課長対象 人権研修	職員の人権意識の向上を図るため、次長・課長を対象に「性的マイノリティ（LGBTQ+）について」をテーマに人権研修を実施した。（参加者数：172人、実施回数：3回） また、人権について改めて深く考える機会を創出し、多種多様な人権について理解を深めるとともに、人権問題を自分事として捉え、行動できる人材を育成するため、研修内容を元に各職場において職場研修を実施した。	—
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント	コンプライアンス推進課	市職員対象 ハラスメント防止研修	職員の意識啓発及びハラスメントの未然防止を図ることを目的に、正職員（入職3年目、4・5年目、9・10年目、課長・課長代理級）及び任期付職員、会計年度任用職員等を対象に、ハラスメント防止研修を実施した。（参加者数：726人）	—
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント	上下水道総務課	ハラスメント防止研修	上下水道局全体の会議等において、上下水道総務課長より各課長へ周知すべき内容や注意喚起を随時行った。	—
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント 17 様々な人権問題	市立ひらかた病院総務課	ハラスメント防止研修	ハラスメント防止について当事者意識を持ち、相手の立場に立った行動・言動ができるよう医療職、看護職、コメディカル職を対象にハラスメント防止研修を実施し、127人の参加があった。	—
17 様々な人権問題	人権政策課	市職員対象 枚方市人権擁護推進本部研修	市職員を対象に、社会に存在するものの、あまりよく知られていない人権問題について学ぶことを目的に、「みんなで考える気づきにくい偏見や差別「マイクロアグレッション」って何?!～やさしく学ぶ人権の話～」をテーマにした研修を実施した。「マイクロアグレッション」の問題性や対処方法を学ぶことにより、人権問題への理解と意識醸成を図った。（参加者数：52人）	—
17 様々な人権問題	人権政策課	枚方事業所人権推進連絡会 総会研修会	市内の事業所が加入している枚方事業所人権推進連絡会の総会において、職場での差別や不平等を解消する上で注目されているアンコンシャス・バイアスをテーマにした研修会「『アンコンシャス・バイアス』への気づきをもとう」を事業者向けに実施した。（参加者数：21人）	枚方事業所人権推進連絡会

別冊）令和5年度取組実績一覧

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
17 様々な人権問題	教育研修課	教職員研修	教職員研修計画に基づき、通年で研修（法定研修を含む。）を実施した。 R5年度は、初任者研修で6回、中堅教員研修で1回、管理職研修で3回、職務研修で1回、の合計11回実施した。 また、人権主导者を対象とする研修を人権教育研修として通年で3回実施した。	—
17 様々な人権問題	市立ひらかた病院総務課	新入職員・異動職員への市立ひらかた病院職員ハンドブックの配布と院長講話	新入職員・異動職員への市立ひらかた病院職員ハンドブックの配布による患者の権利周知と取り組みについての院長講話を実施した。	—

基本方向Ⅰ.人権教育の推進（5）参加・体験型学習の充実

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
2 子どもの人権	人権政策課	児童向け 人権の花運動	子どもたちが協力して花を育てることを通じて、「命の大切さ」や「相手への思いやり」の心をはぐくむことを目的に実施した。R5年度は、津田南小、東香里小、蹊跼東小の3校で実施した。	人権啓発活動大阪地域ネットワーク協議会
2 子どもの人権	人権政策課	生徒向け スマホ・ケータイ人権教室	スマートフォンや携帯電話の利用に関した危険やトラブルを未然に防ぐとともに、SNSや無料通信アプリを使用したいじめなどの人権問題が発生した場合の、人権擁護機関の相談利用について周知を図ることを目的に実施した。R5年度は山田中で実施した。	株式会社NTTドコモ 大阪法務局 大阪府人権擁護委員連合会
2 子どもの人権	人権政策課	児童向け 体験型人権教室	障害のあるなしに関わらずプレーできるボッチャの体験と、社会福祉協議会によるアイマスク、白杖体験などを実施した。R5年度は、小倉小、殿山第一小、樟葉小の3校で実施した。	大阪第二人権擁護委員協議会 社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会
2 子どもの人権	子ども青少年政策課	子ども向けワークショップ 大人向け講演会	子どもを守る条例に関する啓発として、子どもの意見表明権の周知啓発を目的に、子ども向けワークショップと大人向け講演会「感じてみよう!子どもの気持ち」を同時開催した。	—
4 障害のある人の人権	文化生涯学習課	小学生向け 夏休みこども教室	パラリンピック種目である「ボッチャ」を体験することで、多様性について理解を深めるきっかけづくりの場を提供した。 市内小学生を対象に1回開催した。（参加者数:14人）	—
4 障害のある人の人権	スポーツ振興課	市民向け スポーツチャレンジフェスタ	障害者スポーツの実践を通じて聴覚障害への理解を深め、多様性を学ぶきっかけを作ることを目的とし、サインバスケットボール体験など、障害者スポーツを含めさまざまなスポーツが障害の有無に関わらず楽しめるイベントを実施した。（参加者数:362人）	公益財団法人 枚方市スポーツ協会
4 障害のある人の人権	スポーツ振興課	市民向け トリプルバドミントン交流会	障害・年齢・性別等関係なく、「障害者・高齢者・健常者」や「子ども・若者・シニア」などいろんなトリプルで行うバドミントン大会を実施した。（参加者数:81人）	公益財団法人 枚方市スポーツ協会
4 障害のある人の人権	障害企画課	市民向け 「手話体験コーナー」の実施	小中学生を対象として開催した「枚方市手話普及イベント（バスケットボール教室&デフバスケットボール体験会）」と併せて、クイズ形式の手話コーナーを実施することで、手話の周知や啓発を図った。	公益財団法人 枚方市スポーツ協会
4 障害のある人の人権	障害企画課	市民向け 枚方市障害者社会参加促進事業（スポーツ講習会）	枚方市スポーツ協会への委託により、障害者社会参加促進事業スポーツ講習会を実施し、eスポーツやウィルチェアスポーツ等に親しんでもらった。	公益財団法人 枚方市スポーツ協会
4 障害のある人の人権	障害企画課	市民向け 要約筆記体験講座	筆談の必要な聴覚障害及び中途失聴のある方への理解を深め、更に要約筆記の紹介や体験事業を行うために講座を実施した。（参加者数:12人【手書き・パソコン】）	要約筆記サークル バンビ 寝屋川市、交野市と共同

基本方向2. 人権啓発の推進（1）効果的な人権啓発事業の実施

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
1 女性の人権	危機管理政策課	枚方市防災会議	枚方市防災会議委員の任期満了に伴う後任の推薦依頼等に際し、女性の積極的な推薦を呼び掛け、女性委員比率の向上を図った。	—
1 女性の人権	人権政策課	女性に対する暴力をなくす運動期間の平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のパープルライトアップ	女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～25日）に合わせ、平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のパープルライトアップを行った。	—
1 女性の人権	人権政策課	男女共同参画啓発講座【再掲】	性別にかかわらず誰もが個人として尊重される男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業として、女性のためのコミュニケーション講座、ペーパークラフト講座、母娘関係を学ぶ講座や映画「パッドマン」上映会等を実施した。（参加者数：合計153人）	—
2 子どもの人権	子ども青少年政策課	市民向け講演会	岡山大学 教育推進機構 准教授 中山 芳一さんを講師に招き、「学力テストで測れない『非認知能力』を伸ばすために」をテーマに講演会を開催した。	枚方市青少年育成指導員連絡協議会
2 子どもの人権	教育政策課	市民向け社会教育（人権）講座	人形劇を通じ、子どもたちにすべての人が同じである必要はなく、多様な人たちがいること、そしてお互いの違いを尊重することについて考えるきっかけの場を提供することを目的として、「ひとりぼっちのおおかみと七ひきのこやぎ」と「スイミー」を上演をした。（参加者数：23組51人）	—
4 障害のある人の人権	障害支援課	枚方市障害者差別解消支援地域協議会の開催	協議会を開催し、障害者差別解消に関する研修などの取組の報告をはじめ、相談事例に関する意見交換や、改正障害者差別解消法の施行に伴う令和6年4月からの民間事業者への合理的配慮の義務化について情報共有を実施した。	特定非営利活動法人 パーソナルサポート ひらかた 社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 特定非営利活動法人 陽だまりの会 等
4 障害のある人の人権	障害支援課	枚方市障害者虐待防止関係機関会議の開催 障害福祉サービス事業者への周知、啓発	協議会を開催し、障害者虐待への対応状況の説明や虐待事例として認定したケースに関する意見交換等を実施した。虐待事例に対する関係機関との連携、協力を依頼した。また、国や府からの障害者虐待に関する情報については、適宜事業者への周知等を行った。	特定非営利活動法人 パーソナルサポート ひらかた 社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 特定非営利活動法人 陽だまりの会 枚方市障害福祉サービス事業者連絡会 等
4 障害のある人の人権	障害支援課	大阪ふれあいキャンペーン	障害者週間にあわせて、啓発用のクリアファイルや折り紙を配布した。	大阪ふれあいキャンペーン実行委員会
4 障害のある人の人権	障害企画課	手話言語の国際デーの平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のブルーライトアップ	「手話言語国際デー」である9月23日に手話言語への意識を高めることを目的に、ニッペパーク岡東中央の平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）を青色にライトアップした。	—
7 外国人の人権 17 様々な人権問題	人権政策課	市民向け人権週間事業	広く市民の人権意識の高揚を呼びかける人権週間事業の一環として、戦争が最たる人権侵害であることから、戦禍にあるウクライナ出身のナターシャ・グジーさんによるコンサートを実施し、平和の大切さを啓発した。（参加者数：292人）	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会
7 外国人の人権	中央図書館	市民向け多言語で楽しむおはなし会	日本語を母語としない全ての子どもたちが読書を楽しめるよう読書のバリアフリー化の推進と、子どもや大人の国際理解を深めるため、コウ リンチンさんを講師とし、中国語による絵本の読み聞かせと中国の紹介を行った。（参加者数：28人）	—
9 新たなウイルス等感染症感染者 や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権	保健予防課	塩野義製薬株式会社との感染症対策の支援・啓発に係る連携協定	塩野義製薬株式会社との「感染症対策の支援・啓発に係る連携協定」に基づき、市民向けに「感染症啓発セミナー」を1回実施した。（参加者数：52人）	塩野義製薬株式会社
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	人権政策課	市民向け映画上映会 ウィルdeシネマ	性の多様性に対する理解促進を図るため、男女共生フロア・ウィルの映画上映会「ウィルdeシネマ」において父親同士の同性婚の現場で、ふたつの家族が繰り広げる葛藤と、理解に至る過程を描くイタリア映画「泣いたり笑ったり」と、現代のインドで、タブーや因習、世間の目を物ともせず、安全・安価な生理用品の普及に奔走した男の実話を映画化した「パッドマン」の上映を行い、啓発に取り組んだ。（参加者数：合計400人）	—

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
17 様々な人権問題	人権政策課	市民向け 憲法のつどい 講演会・憲法前文朗読動画の上映	憲法の理念を広く市民に啓発する取組として、多様性を尊重し、ちがいを認め合う社会の実現を目指し、俳優・タレントの副島淳さんによる講演会「ちがいを楽しむ」を実施した。また、枚方第二小学校児童による日本国憲法前文の朗読動画の上映も行った。（参加者数：203人）	—
17 様々な人権問題	人権政策課	市民向け 人権文化セミナー	広く市民に「人権の大切さ」を学ぶ機会を提供するため、桂 花團治さんによる落語とお話の会「落語で伝える戦争～創作落語『防空壕』に込めた願い～」を実施し、戦争体験者から聞き取り等をして創作された落語を通して、平和について考える機会を設けた。（参加者数：93人）	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会
17 様々な人権問題	人権政策課	北朝鮮人権侵害問題啓発週間の平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のブルーライトアップ	北朝鮮人権侵害問題啓発週間（12月10日～16日）に合わせ、平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のブルーライトアップを行った。	—
17 様々な人権問題	人権政策課	市民向け 拉致問題を考えるパネル展	北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業の一環として、啓発パネルの展示や日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」DVDの上映を行った。	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会

基本方向2. 人権啓発の推進（2）様々な媒体による学習機会の拡充と人権啓発の推進

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
1 女性の人権	人権政策課	市民向け 動画講演会	国が定める男女共同参画週間に合わせ、男性のジェンダーと生きづらさをテーマにした講演会「みんな“男”がわからない?～一般男性の話から見えた生きづらさと男らしさのこと～」を動画配信と上映会により実施した。(動画視聴回数:89回、動画上映会参加者数:6人)	—
2 子どもの人権	まるっとこどもセンター	市民向け 子育て支援講座	児童虐待防止の周知・啓発を目的に市民を対象とした子育て支援講座を、「子育て中のイライラとの上手な付き合い方」をテーマに実施した。(参加者数:267人(配信動画視聴者数含む))	—
1 女性の人権 2 子どもの人権 6 部落差別(同和問題) 7 外国人の人権 8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権 13 職業や雇用をめぐる人権 15 インターネットによる人権侵害 17 様々な人権問題	人権政策課	広報ひらかたに啓発コラムや記事の掲載	人権問題が身近にあることを周知するため、広報ひらかたに「ひこぼしくんの人権コラム」を5回掲載した。また、各人権問題の啓発月間等に啓発記事を掲載した。 ・ひこぼしくんの人権コラム『「子どもを守る条例」子どもの権利って?』『6月1日は人権擁護委員の日 人権擁護委員って、どんな人?』『便利と危険が隣り合わせ』『正しい知識を身に付けよう「HIV」、「エイズ」って?』『相手のことを知ること、自分たちのことを知ってもらうこと』 ・広報記事『6月23日～29日は男女共同参画週間』『しない!させない!身元調査』『6月は「就職差別撤廃月間」』『ゆるさない!ヘイトスピーチ』『部落差別につながる調査の依頼は許されません』『女性に対する暴力をなくす運動』『ゆるさへん!ヘイトスピーチ』『12月4日～10日は人権週間』『12月10日～16日北朝鮮人権侵害問題啓発週間』	—
5 こころの病(うつ病など)に関する人権	保健医療課	自殺予防週間および自殺対策強化月間の普及啓発	自殺予防週間(9月10日～16日)、および自殺対策強化月間(3月)に合わせて、広報、デジタルサイネージ、ホームページ、SNS発信にて普及啓発を実施した。いのちのホットライン等、相談窓口の周知をした。また関係各所にてポスター掲示を依頼した。	—
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	健康福祉政策課	ハンセン病問題解決に係る啓発	「ハンセン病を正しく理解しましょう」をテーマにホームページで周知・啓発を実施した。 リーフレットを関係課の窓口に設置し市民に配布したほか、R5年度は、枚方市健康・医療・福祉フェスティバルにて、「地域で生きる」のDVD上映を行った。	国立ハンセン病資料館 特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	保健予防課	HIV検査普及週間・世界エイズデーに合わせた京阪枚方市駅でのデジタルサイネージ	世界エイズデーに合わせて、デジタルサイネージを用いて知識・検査の普及を行った。(11月27日～12月10日)	株式会社 京阪エージェンシー
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	保健予防課	世界エイズデーの啓発	広報ひらかたやSNS、市政情報モニター、市職員用メールを用いてHIV・エイズの知識・検査の普及を行った。	—
13 職業や雇用をめぐる人権	人権政策課	就職差別撤廃街頭啓発	6月の就職差別撤廃啓発月間に合わせ、枚方市駅周辺で街頭啓発を実施し、啓発グッズの配布を行った。また、枚方事業所人権推進連絡会の会員事業所に啓発リーフレットを配付した。	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会 枚方事業所人権推進連絡会
16 ひきこもりの状態にある人の人権	まるっとこどもセンター	市民向け 当事者が語る「ひきこもり」講演会	ひきこもり等の状態にある子ども・若者やその家族が偏見や差別を受けないよう、ひきこもり等の子ども・若者の理解を深め、支援について周知・啓発するための市民講座を開催した。会場での開催と動画による配信を行った。	—
17 様々な人権問題	人権政策課	人権週間街頭啓発	12月の人権週間(12月4日～10日)に合わせ、枚方市駅・樟葉駅・長尾駅で街頭啓発を実施し、啓発グッズやリーフレットの配布などを行った。	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会 枚方地区人権擁護委員会 枚方事業所人権推進連絡会

基本方向3. 人権相談・支援体制の充実（1）人権相談

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
1 女性の人権	人権政策課	女性相談・男性相談	男女共生フロア・ウィルにおいて、女性を対象に電話相談、面接相談、法律相談を実施した。また、相談につながりにくい男性の利便性向上に向け、時間帯等に配慮した男性のための電話相談を実施した。	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会
1 女性の人権	人権政策課	枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」	DV被害者の専門相談窓口である枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」において関係機関と連携し、DVの早期発見、相談から安全確保、自立支援まで、被害者への切れ目のない支援を行った。	—
2 子どもの人権	人権政策課	いじめ相談窓口	いじめを市全体の問題として捉え、市長部局においてもいじめ防止対策に取り組むため、7月よりいじめ相談窓口を開設した。いじめ相談専用電話の設置の他、児童・生徒へお手紙相談用紙を配布し、電話や手紙等にて相談を実施した。相談者に寄り添った傾聴や助言を行い、相談者が希望した場合は、学校での面談等も行った。必要に応じ、事案について学校や教育委員会等の関係機関と情報共有を行いながら対応した。	—
2 子どもの人権	まるとこどもセンター	妊婦オンライン相談	妊婦またはその家族を対象に、妊娠経過や産後に関する不安や悩み等の相談をオンラインにて実施した。	—
2 子どもの人権	まるとこどもセンター	ひとり親家庭応援ガイド・LINE相談	簡単な質問に答えるだけで家庭の状況に応じた支援制度や手続きが検索できる「ひとり親家庭応援ガイド」及びひとり親家庭相談支援センターの相談員に直接LINEで悩みを相談できる「ひとり親相談LINE」について、周知及び相談受付を行った。	—
2 子どもの人権	まるとこどもセンター	ひとり親家庭日曜日の特別相談	平日に来所することが難しい家庭のため、8月に日曜日の相談窓口を開いた。	—
2 子どもの人権	児童生徒課 まるとこどもセンター	子ども相談チャットアプリ「ぽーち」を活用した 子どものSNS相談事業	市立小中学校の児童・生徒に対し、一人一台配付されているタブレット端末にこども相談チャットアプリ「ぽーち」を導入した。 【気持ちの視覚化】 ・その日の気持ちを選択し、タブレット端末に登録、児童・生徒による日々の気持ちの振り返り等。 ・教職員が視覚化された児童・生徒の心情の変化を把握、各々に応じた支援の実施等。 【SNS相談】 ・専門の相談員による相談対応	—
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	市立ひらかた子ども発達支援センター	保育所・通所施設巡回相談業務	心理職による保育所、幼稚園等への巡回相談・保育相談を延べ1,306件、通所施設での発達相談を延べ200件実施した。	—
2 子どもの人権 16 ひきこもりの状態にある人の人権	子ども青少年政策課	青少年相談	いじめ、不登校、ひきこもり、中途退学、ニート問題や人間関係等の青少年の悩みや青少年問題全般について、早期解決に資することを目的に、概ね26歳までの青少年及びその保護者等を対象とした相談を枚方公園青少年センターで行った。R5年度の相談件数は52件（面接相談28件、電話相談24件）。	—
3 高齢者の人権	健康福祉政策課	高齢者見守り110番事業	支援を必要とする高齢者を早期に発見し相談につなげるため、地域包括支援センターが中心となり各協力店舗とのネットワークにより連携し、取り組んだ。	地域包括支援センター
4 障害のある人の人権	障害企画課	障害者相談支援事業	障害のある人やその家族に対して、障害福祉サービスの利用援助、専門機関等の情報提供及び権利擁護のための援助を行った。	市内7か所の事業所
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	保健医療課	こころの健康相談	こころの健康に関する相談について、電話、面接、訪問等で支援を実施した。R5年度は述べ5761件対応した。	—
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	障害企画課	こころの電話相談	心に悩みのある人への電話相談を行った。（実績：4,230件 開所日数：363日）	社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会
7 外国人の人権	観光交流課	外国人のための1日相談会	在留資格や労働、教育などについて、行政書士・社会保険労務士との専門相談や生活についての相談を1回実施した。（参加者数：9人、相談件数11件）	公益財団法人 大阪府国際交流財団
11 ホームレスの人権	健康福祉総合相談課	ホームレス巡回相談指導事業	ホームレス状態にある方への巡回相談を実施し、健康や生活状況を見守りながら、医療機関の紹介、仕事探しのお手伝い、借金問題の相談、生活保護等各種制度活用に関する助言等、ホームレス状態からの脱却に向けた相談・支援を実施した。	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権	人権政策課	LGBTQ+電話相談	LGBTQ+当事者や家族を対象にした専門電話相談を月1回実施した。	特定非営利活動法人 QWRC

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
14 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどのハラスメント	コンプライアンス推進課	ハラスメント苦情相談制度の運営	すべての職員が個人として尊重され、互いに信頼し合い、安心して働ける職場環境づくりを目的に、ハラスメント苦情相談員の配置及び外部相談窓口の設置により、ハラスメント苦情相談を受け付け、解決に向けた対応を行った。	きっかわ法律事務所 ウィメンズカウンセリング京都
16 ひきこもりの状態にある人の人権	健康福祉総合相談課	生活困窮者自立相談支援機関におけるひきこもり相談	全ての世帯を対象に、ひきこもり状態にある方やその家族等からの相談を確実に受けとめ、必要に応じて関係機関や窓口と連携し、支援に関する情報の共有を行った。	ひきこもり等子ども・若者相談支援センター
17 様々な人権問題	人権政策課	人権擁護委員による人権相談	毎週月曜日9時～12時で人権擁護委員による人権相談を実施した。また、6月と12月には特設相談窓口を設けた。	枚方地区人権擁護委員会
17 様々な人権問題	人権政策課	人権なんでも相談	人権相談事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、市民からの相談に応じた。人権侵害を受け、又はその恐れがある場合、相談内容に応じて、助言及び情報提供を行うと共に、自ら問題解決できるよう支援を行った。（相談件数：364件）	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会

基本方向3. 人権相談・支援体制の充実（2）支援体制

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
1 女性の人権	人権政策課	離婚を考える女性のための連続講座	離婚を視野に入れこれからの生活を考える女性を対象に、各専門の講師より基礎知識や具体的な手法を学ぶ機会とするため、2回の連続講座「知っていてソンはない 離婚とお金のリアルな情報」「離婚後の住まいの不安を解消!～住宅探しの基礎知識～」を実施した。	—
1 女性の人権	人権政策課	DV被害から回復するための教育プログラム	DV被害者を対象に、DV被害から回復するための教育プログラム「わがままステーション」を実施した。	—
1 女性の人権	人権政策課	生理用品無償配置	身体的性差への理解促進を図るとともに、その性差を踏まえ女性の負担軽減を目的として、市役所庁舎での生理用品の無償配置を開始し、令和6年4月時点で市公共施設30施設に設置した。	—
1 女性の人権 2 子どもの人権 3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権 9 新たなウイルス等感染症感染者 や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権	危機管理対策推進課	要配慮者が安心して避難生活ができる 避難所運営	要配慮者が安心して避難生活ができるように簡易ベッド、間仕切りパーテーションの追加配備を実施した。	—
2 子どもの人権	医療助成・児童手当課	ひとり親等のための休業手当金支給（コロナ関係）	子どもを監護するため休業を余儀なくされたひとり親等の経済的支援策として実施した。対象は1～4のすべての要件に該当する世帯。 1 有給休暇の取得ができない、2 国の休業補償等の適用がない、3 枚方市において児童扶養手当を受給している、4 生活保護を受給していない 1日当たりの上限額 4,912円 実績:0件 なお、本事業は令和5年5月7日までを対象期間とし、その申請期間を過ぎてから事業を終了した。	—
2 子どもの人権	健康福祉政策課	ひらかたポイントによる子ども食堂への寄附	子ども食堂「子どもの居場所づくり」実施団体のうち、ひらかたポイントの寄附を受け入れている9団体に、ひらかたポイント利用者からのひらかたポイント(1ポイント1円)の寄附を行った。	—
2 子どもの人権	子ども青少年政策課	子どもの居場所づくり（「子ども食堂」）助成	食事の提供により子どもたちを見守る活動（いわゆる「子ども食堂」）に取り組む団体を支援することを目的に、20団体（22か所）に補助金を交付し、開催回数は食堂形式による食事の提供や手作り弁当の配布を377回行い、1回の開催当たりの子どもの平均参加者数は約38人となった。また、年に1回の開催でも補助金を交付する子どもの居場所づくり推進事業（トライアル）補助金を1団体（1か所）に交付した。また、子どもの未来応援コーディネーターが子ども食堂への巡回を通じて、課題を抱える子どもやその家庭の早期発見と、必要な支援へのつなぎを行った。	—
2 子どもの人権	私立保育幼稚園課	乳児家庭全戸訪問事業	生後4カ月までの乳児のいる家庭の自宅に訪問することにより、乳児のいる家庭の孤立化を防ぎ、もって地域の中で子どもが健やかに育つことが出来る環境整備を図ることを目的とする事業。 【訪問実績】訪問者数 192人	社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 まるっとこどもセンター
2 子どもの人権	私立保育幼稚園課	医療的ケア児保育支援事業補助	日常的に医療的ケアを必要とし、保護者の就労などにより保育が必要な児童1人を、私立保育園1施設で受け入れた。	私立保育所（園） 認定こども園 小規模保育事業実施施設
2 子どもの人権	私立保育幼稚園課	ファミリーサポートセンター事業	子どもの送迎や預かりなど、子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と援助を行いたい人（提供会員）が会員となり、地域で有償の相互援助活動を行う事業。 依頼会員:2998人 提供会員:372人 両方会員:75人 相互活動件数:6657件	ファミリーサポートセンター
2 子どもの人権	私立保育幼稚園課 公立保育幼稚園課	病児保育事業	保育所（園）等や一時預かり事業を利用している児童が、病気のため保育所（園）等を休まなければならない時に、医療機関に併設した保育室で一時的に保育を行った。 施設数:4施設 利用者数:3,698人	保坂小児クリニック（くるみ） 田辺こどもクリニック（ピッコロケアルーム） にしだ小児クリニック（クオレ） 市立ひらかた病院（枚方市病児保育室）
2 子どもの人権	まるっとこどもセンター	市民向け ひとり親家庭向け就業支援講習会	母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦に対し、母子家庭等の就業・自立支援センター（大阪府母子寡婦福祉連合会へ委託）において、パソコン初級講座、介護職員初任者研修等の受験対策等全12講座の就業自立支援講習会を実施した。受講者数:4人	—

別冊）令和5年度取組実績一覧

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
2 子どもの人権	まるっとこどもセンター	枚方市ヤングケアラー等世帯訪問支援事業	概ね18歳までの子どもを含む世帯のうち、支援が必要なヤングケアラーがいる世帯へ、家事援助及び育児援助を行う訪問支援員を派遣するサービスを始めた。	—
2 子どもの人権	施設整備課	学校エレベーター設置	「学校施設のエレベーター設置等に関する方針」に基づくエレベーターの設置工事の1件に着手した。	—
2 子どもの人権	施設整備課	学校整備計画（学校トイレを洋式化・ドライ化・ユニバーサル化）	学校トイレを洋式化・ドライ化・ユニバーサル化するため、小学校及び中学校のトイレ改造工事24件（小学校26系列、中学校9系列）を実施した。	—
2 子どもの人権	児童生徒課	子どもの見守り体制の確立 （児童虐待、子どもの貧困、ヤングケアラー）	児童虐待の防止にあたり、幼児・児童・生徒が相談しやすい体制を構築するとともに、幼児・児童・生徒や保護者の状況把握と、未然防止、早期発見・早期対応に取り組んだ。 また、その際には、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家や関係機関との連携を図った。	—
2 子どもの人権 3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権 17 様々な人権問題	健康福祉総合相談課	重層的支援体制整備事業	複雑化・複合化した地域生活課題を抱える市民に対して、市内の生活困窮、高齢、障害、子どもの各分野の担当者及びコミュニティソーシャルワーカーを中心として支援会議及び重層的支援会議を開催し、支援関係者による連携支援を行うなど、対象者の問題解決に取り組んだ。	社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	私立保育幼稚園課	障害児保育補助	私立保育所（園）等の48施設において計204人の障害のある児童を受け入れた。	私立保育所（園） 認定こども園 小規模保育事業実施施設
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	公立保育幼稚園課	発達障害等に関する幼稚園巡回相談	発達障害等に関する専門的な知識・技能を持つ相談員3名を幼稚園に派遣し、教職員に対する指導助言や、幼児・未就園児の保護者からの相談に応じた。	—
2 子どもの人権 4 障害のある人の人権	公立保育幼稚園課	幼児ことばの教室	言語の障害（吃音、構音障害等）のある就学前の幼児（5歳児）を対象として、元教員による言語訓練及び保護者からの教育相談を実施した。	—
3 高齢者の人権	健康福祉政策課	シルバー人材センター事業費補助事業	高齢者の知識や技能を活かした事業を通して、センターの設置目的である高齢者が働くことを通じた生きがいがづくり、さらなる地域社会の活性化への貢献につなげていくことを効果的に支援する。R5年度は、「幅広い世代の居場所づくり事業」「遊休地活用事業」の経費の一部を補助した。	公益社団法人 シルバー人材センター
3 高齢者の人権	健康福祉政策課	みまもりあいステッカーの配付	認知症による徘徊がみられる高齢者を介護している家族に対し、申請代行、登録についての説明、入会金・利用料（1年間の年間利用料）の補助を行った。	地域包括支援センター
3 高齢者の人権	健康福祉政策課	ひらかたSOSキーホルダーの配付	外出先で倒れたり、保護された時、緊急連絡先を記載したキーホルダーに連絡ができるよう、地域に身近な地域包括支援センターでも申請受付を行った。	地域包括支援センター
3 高齢者の人権	健康福祉総合相談課	緊急通報装置設置事業	ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の支援のため、消防署への通報や相談センターにつながる緊急通報装置を貸与している。R5年度は2685人（うち新規申請者数：310人）に貸与し、ひとり暮らし高齢者等が自宅で安心して暮らし続けることのできる環境づくりを進めた。	—
3 高齢者の人権	健康づくり課	高齢者虐待防止ネットワーク会議	高齢者虐待の相談先である地域包括支援センターと協力し、介護保険事業者や警察等との連携強化を目的にネットワーク会議を4エリアに分け開催した。	地域包括支援センター 枚方警察署・交野警察署 市内介護保険事業者
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	危機管理政策課	避難行動要支援者の個別避難計画について 枚方市地域防災計画に掲載	枚方市地域防災計画において、避難行動要支援者の同意に基づく個別避難計画の作成や、警察・消防組合・社会福祉協議会等の避難支援等関係者への提供など、避難行動要支援者の個別避難計画に関する記載を充実させている。	枚方警察署・交野警察署 枚方寝屋川消防組合 社会福祉協議会などの避難支援等関係者
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	健康福祉総合相談課	成年後見制度	認知症や知的障害その他の精神上の障害等により判断能力が不十分な人を法律的に支援し、本人の権利を守る手段である成年後見制度について、利用促進に係る施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として策定した枚方市成年後見制度利用促進計画に基づき設置したひらかた権利擁護成年後見センターにおいて、関係団体間のネットワークの構築・連携等を図りながら利用促進を進めた。 成年後見制度等の専門職を現場等に派遣し、専門的な助言や支援を行う専門職派遣を実施した。 （相談・支援延件数：1126件、専門相談延件数：31件、専門職派遣延件数：2件）	ひらかた権利擁護成年後見センター

別冊）令和5年度取組実績一覧				
人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	環境事業課	ふれあいサポート収集 大型ごみ持出しサポート収集	ふれあいサポート収集では、家庭から排出されるごみを収集場所まで持ち出すことが困難な高齢者、障害者等で構成される世帯に対し、ごみの戸別の収集等を行った。（利用者数：230人） 大型ごみ持出しサポート収集では、大型ごみ等を屋内から収集場所に搬出することが困難な高齢者、障害者等の世帯に対し、大型ごみ等を屋内から搬出し、収集を行った。（収集件数：401件）	—
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	土木政策課	枚方市バリアフリー推進協議会	当事者及び交通事業者等で構成する「枚方市バリアフリー推進協議会」を開催し、令和5年5月に改訂された「大阪府福祉のまちづくり条例ガイドライン」について情報共有を図るとともに、バリアフリー基本構想に基づく道路特定事業計画をはじめ、各事業者からのハード・ソフト両面からの取り組み内容の報告を行い、当事者との意見交換を行った。	—
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	中央図書館	活字による読書が困難な利用者への対面読書の実施	活字資料の利用が困難な利用者に対して読書の機会を提供するため、希望する本や雑誌、新聞などを図書館に個人登録している音訳者が対面で読むサービスを実施した。インターネットを利用しての遠隔対面も実施した。（実施回数：100回）	厚生労働省
3 高齢者の人権 4 障害のある人の人権	中央図書館	点字・録音図書の提供	活字資料の利用が困難な利用者に対して読書の機会を提供するため、希望する点字図書や録音図書を提供した。希望する点字・録音図書が市内にない場合は、全国の図書館から借りて提供した。（貸出数：点字図書70タイトル、録音図書2638タイトル）	厚生労働省
3 高齢者の人権 7 外国人の人権	支援教育課	夜間中学校	様々な事情で小学校や中学校を卒業できなかった人に対して、学ぶ機会を設けている守口市立さつき学園夜間学級の入学者募集情報を、広報ひらかたに掲載したり、枚方市立図書館等にチラシを配架したりした。	守口市立さつき学園夜間学級
4 障害のある人の人権	議事調査課	枚方市議会報 点字・録音版の発行	枚方市議会報点字・録音版を発行した。	—
4 障害のある人の人権	広報プロモーション課	広報ひらかた 点字・録音版の発行	広報ひらかた点字・録音版を発行した。	—
4 障害のある人の人権	広報プロモーション課	ひらかた便利帳 点字・録音版の発行	ひらかた便利帳 点字・録音版を発行した。	—
4 障害のある人の人権	健康福祉政策課	障害者水泳教室	障害児（者）水泳教室（小学生以上）：7回開催（参加者数：124人） 障害者水泳教室（中学生以上）：2回開催（参加者数：25人）※設備故障・保全工事により一部中止となった 障害児（者）親子水泳教室（小学生以上）：7回開催（参加者数：124人） 障害児ファミリー水泳教室：7回開催（参加者数：100人）※人数については、介助者を含む。 ※「障害児（者）ファミリー水泳教室（小学生以上）」は、保全工事により中止	HUG共同事業体
4 障害のある人の人権	障害企画課	地域活動支援センター事業	サロン活動や各種教室の開催など創作的活動や生産活動を通じて、障害のある方へ社会との交流の機会を行った。	市内9か所の事業所
4 障害のある人の人権	障害支援課	障害者チャレンジ雇用会計年度任用職員	前年度からの継続の2名に加え、新たに精神障害者2名を採用したが、5月に、1名が心身の不調等を理由に退職。前年度から継続雇用されていた者2名中1名は就職先が決定。他1名は就職先が決定しないまま任期終了となったが、その後、就職先が決定した。	枚方市障害者就業・生活支援センター
4 障害のある人の人権	障害支援課	障害者世帯の住宅改造助成	重度障害者の住宅改造25件に対して、補助金を交付した。	枚方市理学療法士会
4 障害のある人の人権	障害支援課	エル・フェスタinひらかた 合同就職面接会（障害者合同就職面接会）	1月に4社が参加して合同就職面接会を開催し、応募者の中から2名が採用された。	枚方市障害者就業・生活支援センター ハローワーク枚方
4 障害のある人の人権	障害支援課	重度障害者住宅改造助成事業協力店募集	住宅改造助成事業を利用する市民に対して、無料で見積を行い、適正な料金で施工する業者を募集し、16社を協力店名簿に掲載した。	—
4 障害のある人の人権 12 性的マイノリティ(LGBT等)の人権	中央図書館	読書バリアフリー講演会	通常の活字による読書や情報入手が困難な人に対して行っている障害者サービスの一環として、 ①琵琶湖学院大学の藤澤和子教授を講師に迎え、「知的障害者の読書を支援する～わかりやすい図書と代読ボランティアの養成・活動～」をテーマに読書バリアフリー講演会を開催した。対象は知的障害児・者の読書問題に関心のある市民。令和5年10月7日（土）14:00～15:30実施。（参加者数：22人） ②Deaf LGBTQ Center代表の山本英由美氏を講師に迎え、「LGBTQって何？～性の多様性と違いを認め合う社会とは～」をテーマに「読書バリアフリー講演会」を開催した。対象は聞こえない又は聞こえにくい人、LGBTQ問題に関心のある市民。令和6年2月25日（日）13:30～15:15実施。手話の読み取り通訳付き。（参加者数：20人）	厚生労働省
4 障害のある人の人権	中央図書館	手話ブックトーク	耳の聞こえない・聞こえにくい市民の図書館利用を促進するため、耳の聞こえない・聞こえにくい市民や手話を勉強中の人を対象に、職員が手話で時事問題や昔話・新しく入った本などを紹介し、ろう者と聴者について手話で語った。 令和5年7月8日（土）10時～12時実施。（参加者数：20名（内ろう者5名））	—

別冊）令和5年度取組実績一覧

人権問題	担当課	取組名称	R5年度の取組内容	協働している場合の 関係機関等の名称
4 障害のある人の人権	中央図書館	バリアフリー映画上映会	視覚障害者や聴覚障害者にも楽しめる映画会を開催することにより来館のきっかけをつくとともに、健常者に対して障害者に関する理解を深めるため、音声ガイド・日本語字幕付きDVDを上映し、手話通訳、磁気ループを配置した。令和5年10月25日13:30～15:30実施（上映作品：2021年公開映画「コード あいのうた」 参加者数：20名）	—
4 障害のある人の人権	中央図書館	手話でたのしむおはなし会	毎月第4土曜日、聞こえる人も聞こえない人も一緒に楽しめるよう、絵本の読み聞かせに手話をつけて行った。（実施回数：11回※令和6年1月以外の第4土曜日に実施。参加者数：合計94人）	—
4 障害のある人の人権 7 外国人の人権	危機管理対策推進課	枚方市防災ガイド外国語・音訳・点訳版発行	R3年度に作成した「英語」、「韓国語」、「中国語（簡体字）」、「ポルトガル語」、「スペイン語」、「ベトナム語」の6か国語に対応した防災ガイドについて市ホームページへの掲載や市役所及び各支所での配布を行った。	—
5 こころの病（うつ病など）に関する人権	文化生涯学習課	うつ病情報交流会	うつ病に関し、本人、家族、うつ病に関心のある人が参加、交流し、情報交換の場を提供した。	—
7 外国人の人権	広報プロモーション課	広報ひらかた 多言語対応アプリで配信	広報ひらかたを多言語対応アプリ「Catalog Pocket」で、英語、中国語簡体字・繁体字、韓国・朝鮮語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、日本語で配信した。	—
7 外国人の人権	広報プロモーション課	ホームページ 多言語・やさしい日本語対応	ホームページは英語、中国語簡体字・繁体字、韓国・朝鮮語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語へ翻訳でき、「やさしい日本語」にも変換できるようにした。	—
7 外国人の人権	広報プロモーション課	市勢要覧 外国語での発行	枚方の魅カスポットや歴史・文化などを紹介する市勢要覧を英語、中国語、韓国・朝鮮語で発行し、配布・配架した。	—
7 外国人の人権	観光交流課	通訳・翻訳サポーターの派遣	庁内各課の依頼に基づき行政サービスに係る通訳、翻訳を行った。	—
7 外国人の人権	健康福祉政策課	枚方市医療通訳士登録派遣事業	日本語を話せない外国人住民等が、安心して市内の医療機関を利用できる環境づくりを行うとともに、コミュニケーションギャップに起因する医療従事者の負担や診療上のリスクを軽減することを目的に、医療通訳士（医療通訳ボランティア）を派遣した。 また、医療通訳士の増員及び対象言語の拡大を図るため、枚方市医療通訳士養成講座を開講し、令和5年12月に新たに医療通訳士3人（英語1人、中国語1人、韓国・朝鮮語1人）を登録した。（派遣件数：289件、通訳士登録者数：18名）	特定非営利活動法人 多文化共生センターきょうと
7 外国人の人権	教育政策課 （文化生涯学習課）	枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」	日常生活において、日本語の読み書きや会話に困っている方を対象に、学習の場を提供することを目的として、6か所の生涯学習市民センターにて開催した。（実施回数566回、参加者数：延べ2344人）	—
8 HIV感染者、ハンセン病回復者及びその家族の人権	保健予防課	HIV匿名検査	匿名で受検できるHIV検査を実施し、受検前、結果返却時に相談ができるようにした。	—
10 犯罪被害者支援やその家族等の人権	人権政策課	大阪府被害者支援調整会議における取組	大阪被害者支援アドボカシーセンターが調整役となる大阪府被害者支援調整会議に出席し、被害者が求める支援計画に基づき、対応する窓口の案内や情報提供など、適切な支援につなげた。	認定特定非営利活動法人 大阪府被害者支援アドボカシーセンター
11 ホームレスの人権	健康福祉総合相談課	住居がない、もしくは住居を失うおそれのある生活困窮者に対する一時生活支援事業	住居がない、もしくは住居を失うおそれのある生活困窮者に対し、宿泊場所の供与、食事の提供等を行い、その後の自立に向けた支援を実施した。	大阪府 ホテル等協力施設
12 性的マイノリティ(LGBT等)の人権	人権政策課	ひらかた・にじいろスペース	性的マイノリティ当事者同士が気軽に集い、情報交換ができ、抱えている悩みについて参加者同士で語り合えるような場としてらひらかた・にじいろスペース（(LGBTQ+コミュニティスペース）を開催した。	特定非営利活動法人 QWRC
12 性的マイノリティ(LGBT等)の人権	人権政策課	パートナーシップ宣誓制度	誰もが多様性を認め合い、いきいきと暮らせる人権尊重のまちづくりに向けた取組の一環として、パートナーシップ宣誓制度を実施している。R5年度は3組の申請を受け付けた。また、制度利用者の府内での住所異動に伴う手続の負担軽減を図るため、同様の制度を実施している府及び府内10市とパートナーシップ宣誓制度の自治体間連携協定を締結した。	大阪府、京都府、兵庫県のパートナーシップ制度導入自治体
12 性的マイノリティ(LGBT等)の人権	選挙管理委員会事務局	選挙従事者マニュアルへの配慮事項の記載	大阪府知事選挙、大阪府議会議員選挙、枚方市議会議員選挙、枚方市長選挙に係るそれぞれの従事者マニュアルにLGBT等の方への配慮について記載した。	—
15 インターネットによる人権侵害	人権政策課	インターネット上の誹謗中傷に対するモニタリング	特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会への委託事業として、インターネット上のモニタリングを実施した。枚方市（地区）及び枚方市民に係る差別的な情報や書き込みを対象としている。	特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会
17 様々な人権問題	市民生活政策課	戸籍等の取得に関する本人通知制度	新規登録として274件の申請を受け付けた。受付場所については、通常の本庁及び各支所に加え、市が主催するイベント（ひらエコまつり）において、出張申請窓口を開設した。	—
17 様々な人権問題	健康づくり課	がん治療での見た目の悩みを支援（ウィッグや人工乳房などの購入費用を一部補助）	がん患者の心理的な負担を軽減し、がん患者の社会参加の促進及び生活の室の向上を図るため、がんの治療により変化した外見を補完するための用具を購入した申請者に対して補助金交付した。（交付者数：188人）	枚方市内のがん相談支援センター